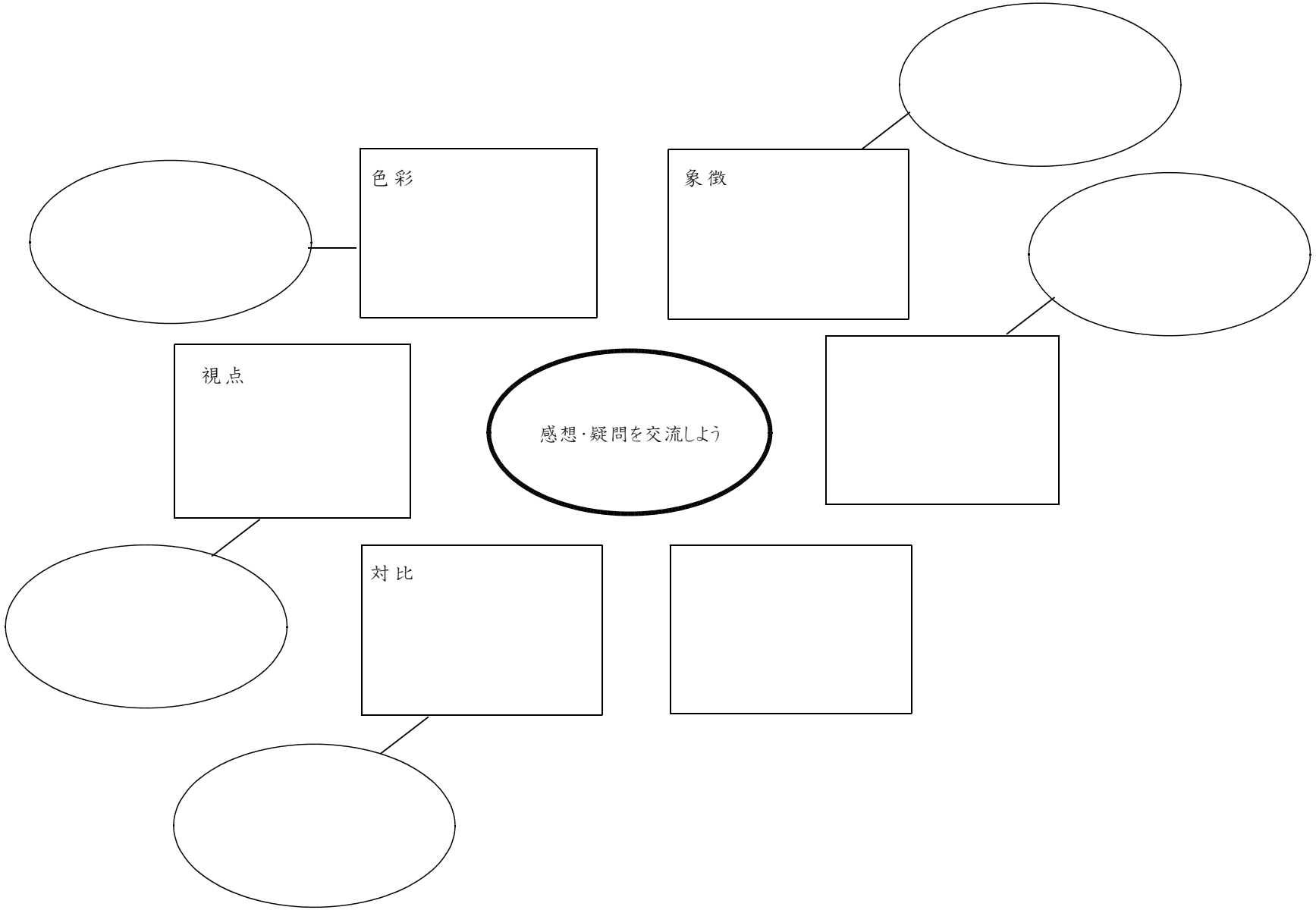
走れメロス〈第二時〉

霜月　日

組　番

名前

課題　□に表現や場面を、◯に気づいたこと・感じたこと・疑問に思ったことを書こう。



象徴…目に見えないもの、形のないものを具体的なものを使って表すこと。例：はと＝平和
色彩…使われている色から想像できるものや印象を使って登場人物の気持ちなどを表すこと。
視点…話者がどこで何を見ているかによって、登場人物の気持ちや臨場感などを表すこと。
対比…二つのものや言葉を比べることで、作品を通して伝えたいことなどを強調すること。

走れメロス（第三時）

霜月　　日	組　　番	名前

課題　登場人物についてわかることを書こう。

☆　①メロス（メロスの仕事や考えなどがわかる表現を抜き出そう）

←　ということは

な性格である。

☆☆②メロスと王（メロスと王が対比的に描かれている表現を抜き出そう）

メロス	
王	

←　ということは

メロスは　な人である。

王は　な人である。

☆☆③前半のメロスと後半（87ページ16行目～89ページ9行目）のメロス

（気持や行動が対比的に描かれている表現を抜き出そう）

前半のメロス	
後半のメロス	

←　ということは

メロスは　から

に変化している。

走れメロス〈第四時〉

霜月　日　組　番　名前

課題　セリヌンティウス、王のどちらかと一緒に視点が動くように作品を書き換えよう。

☆　視点が　セリヌンティウス　・　王　と一緒に動いていたら

メロス

約束一日目

一睡もせず急いで村へ帰り、午前中に到着。

羊群の番をしていた妹に、翌日結婚式を挙げることを伝える。

家へ帰って神々の祭壇を飾り、祝宴の席を整え、眠りに落ちる。

夜、目が覚め、花婿の家を訪れ、結婚式を明日にしてほしいと頼んだ。

約束二日目

夜明けまで議論し、婿を説き伏せた。

結婚式は、真昼に行われた。

メロスは、しばらくは、王とのあの約束をさえ忘れて祝宴を楽しんだ。一生このままここにいたい、このよい人たちと生涯暮らしていきたいと願ったが、わが身にむち打ち、出発を決意した。花嫁と花婿に声をかけ、羊小屋で深く眠った。

約束三日目

薄明に目が覚め、雨中、矢のごとく走り出た。

日が高く昇ったころ、隣村に着く。のんきさを取り返し、小歌を歌いながら歩く。

全里程の半ばに到達したころ、氾濫した川を必死で泳ぎ切る。

日が西に傾きかけたころ、山賊を倒す。

疲労し、立ち上がれなくなり、どうでもいいと、うとうとする。

清水を飲んで、再び走り出す。斜陽が木々の葉に投じる中、信頼に報いるために走る。フィロストラトスに「セリヌンティウスは刑場に引き出されても、あなたを信じていた。」と聞き、最後の死力を尽くして走る。

走れメロス〈第四時〉

霜月　日

組　番

名前

課題　セリヌンティウス、王のどちらかと一緒に視点が動くように作品を書き換えよう。

☆☆☆視点が　セリヌンティウス　・　王　と一緒に動いていたら

約束一日目	約束二日目	約束三日目	メロス

走れメロス〈第五時〉

霜月　日

組　番

名前

課題　□に「違いのある」表現や場面を書こう。

色

象徴

視点

違いを交流しよう

対比

←

走れメロス〈第六時〉

霜月	日	組	番	名前

課題　□に自分の意見の根拠となる表現や場面を、◯を自分の意見を書こう。

課題　自分の考えをまとめよう。